

原発のウソ 目次

まえがき 2

起きてしまった過去は変えられないが、未来は変えられる

第一章 福島第一原発はこれからどうなるのか 9

奇妙な「楽観ムード」が広がっている／原子炉は本当に冷却できているのか？／「崩壊熱」による燃料棒の損傷／炉心は核燃料が溶けるほどの高温になっていた／今後起こりうる最悪のシナリオ／チェルノブイリに続く、新たな「地球被曝」の危険性／悪化する作業員の被曝環境／水棺方式に疑問あり／「進むも地獄、退くも地獄」の膠着状態／再臨界は起きたのか？／政府と東京電力は、生データをすべて開示すべき／レベル7とはどういう事故なのか／首都モスクワの中心部に建てても安全」と言われていた原発が事故故に／今も残る「放射能の墓場」／10000あまりの村々が廃墟に／「チェルノブイリの10分の1」と安心はできない

第二章 「放射能」とはどういうものか 43

放射能は知覚できない／キュリー夫人も「被曝」で亡くなった／放射線が人間のDNAを破壊する／JCO臨界事故の悲劇／細胞が再生されず、人間の身体が壊れていく／放射線のエネルギーはものすごい／福島第一原発からどのような放射能が出ているか／骨を蝕むストロンチウム、「最凶の毒物」プルトニウム／すでに原爆80発分の放射能が拡散している

第三章 放射能汚染から身を守るには..... 67

「安全な被曝」は存在しない／解明されつつある低レベル被曝の危険性／風と雨が汚染を拡大する／被曝から身を守る方法／情報ルートを開拓する／「現実の汚染にあわせて」引き上げられた被曝限度量／子どもに20倍の被曝を受けさせてはならない／放射能の墓場」を原発付近につくるしかない／汚染された農地の再生は可能か／若ければ若いほど死ぬ確率が高くなる／被害を福島の人たちだけに押し付けてはならない

第四章 原発の「常識」は非常識……………

原発が生み出した「死の灰」は広島原爆の80万発分／国も電力会社も危険だということとはよく分かっていた／電力会社が責任をとらないシステム／結局、事故の補償をするのは国民自身!?／原発を造れば造るほど儲かる電力会社／原発のコストは安くはない／大量の二酸化炭素を出す原子力産業／JAROの裁定を無視して続けられた「エコ」CM／地球を温め続ける原発

97

第五章

原子力は「未来のエネルギー」か?……………

123

「資源枯渇の恐怖」が原発を推進してきた／石油より先にウランが枯渇する!?／核燃料サイクル計画は破綻している／破綻確実の高速増殖炉「もんじゅ」／プルサーマルはこうして始まった／プルトリウム消費のために原発を造る」という悪循環

第六章

地震列島・日本に原発を建ててはいけない……………

139

地震地帯に原発を建てているのは日本だけ／「発電所の全所停電は

絶対に起こらない」ということになっていた／多くの原発が非常用電源を配備できていない／「地震の巣」の真上に建つ浜岡原発／瀬戸内の自然を破壊する上関原発／原発100年分の「死の灰」をため込む六ヶ所再処理工場／再処理工場は放射能を「計画的」に放出する／放射能を薄めずにそのまま放出／「もんじゅ」で事故が起きたら即破局

第七章 原子力に未来はない……………161

原子力時代は末期状態／先進国では原発離れが加速／日本の原発は「コピー製品」／「原子力後進国ニッポン」が原発を輸出する悲喜劇／原発を止めても困らない／電力消費のピークは真夏の数日間／すぎない／廃炉にしても大量に残る「負の遺産」／100万年の管理が必要な高レベル放射性廃棄物／「核のゴミ」は誰にも管理できない／何よりも必要なのはエネルギー消費を抑えること